

No.2	提 案 名 : ” L R T パー ク ” で 愉 快 だ 宇 都 宮	
	提 案 団 体 名 : 宇 都 宮 大 学 行 政 学 研 究 室	
	所 属 : 宇 都 宮 大 学	
	代 表 者 : 山 口 菜 々	指 導 教 員 : 中 村 祐 司
メンバ ー	山 口 菜 々 、 木 村 旭 陽	

○ 提案の要旨

令和 8 年 3 月に LRT 平石停留場に直結して東部総合公園の建設が予定されている。ここは、スケートボードや BMX などのアーバンスポーツに力を入れた施設である。また、非常にアクセスのしやすい場所にあるということから、多くの利用者が訪れる見込みだ。行政としても、小さい子どもから高齢者まで、誰でも気軽に利用できる施設にしていきたいという思いがある。私たちは、誰でも気軽に利用する施設にしていくためには、利用者同士の交流が絶えない場所にしていく必要があると考えた。これらのことから私たちは、東部総合公園の利用者同士の交流を促す方法として、”LRTパークで愉快だ宇都宮”を総称として掲げ、その内容は以下の 3 つの事業、すなわち、芝生広場及び屋根付き多目的広場にて屋外図書館の開催「パーク・ライブラリー(Park Library)」、昔遊び祭り「レトロゲーム・フェス (Retoro Game Festival)」、大学サークル・市民交流会「U&C コネクト (University And Citizen Connect)」を提案する。

1. 提案の背景・目的

本提案の背景は、私たちの在籍している宇都宮大学に近い、LRT 平石停留場に直結して東部総合公園が建設予定であるとの情報を得たことである。スケートボードや BMX などのアーバンスポーツに力を入れた施設であるとの話を聞き、当初、他のスポーツも楽しめるような施設にするという提案を考えていた。しかし、中間報告を経て、NCC 推進課からの情報提供があり、他のスポーツに関しても、十分に行える施設であるということを知った。そこで、スポーツ以外にも視野を広げ、東部総合公園の多様な利用方法を提案しようと考えた。目的は、東部総合公園を、より多くの人が利用したいと思えるようにすることである。

2. 提案の目標・課題「まちに広がる共創の輪～新たな価値の創造を目指して～」と

の関連

「まちに広がる共創の輪～新たな価値の創造を目指して～」との関連としては、多様なアクターによるまちづくりを意識している。まず、東部総合公園の建設には、行政である宇都宮市役所、民間である多数の企業が関わっている。そこに、今回の提案で、一般市民、そして宇都宮大学をはじめとした宇都宮市または近隣の大学の学生が関わることで、官民学が一体となり、共創の輪が広がるのではないかと考える。

3. 現状分析

3-1 東部総合公園概要

以下は東部総合公園整備運営事業概要と市役所の NCC 推進課の方へのインタビュー調査によ

り公園施設の概要をまとめたものである。

(1) 位置関係



図 1 東部総合公園予定地図 出典：東部総合公園事業概要

宇都宮駅から東部総合公園までの地図を図 1 に示した。東部総合公園は、農地転用の土地であり、その設置予定地は LRT 線沿い、平石停留所の目の前である。LRT を利用すれば、宇都宮駅から約 14 分ほどである。また東側には、新 4 号国道が走っており、自動車の交通量も多い。さらに、大型の商業施設である「ベルモール」や宇都宮大学とも非常に近い位置関係にある。このことから、LRT で来るにしても、車で来るにしても、非常にアクセスがしやすい場所となっており、多くの利用者が訪れるポテンシャルを秘めている。

(2) 公園施設の概要

・スケートパーク

→全体で約 3000 m²の敷地を持つ施設。スケートボード・BMX 併用の初心者コース：約 1600 m²と、スケートボード専用の中級～上級者コース：1400 m²に分かれている。パークのデザインにはパリ五輪の監督を務めた専門家等の意見を取り入れるなどしており、国内大会はもとより国際大会にも対応可能な施設となっている。

・BMX パーク

→約 1000 m²の BMX 専用の中級者コースとなっている。

・屋根付き多目的広場

→約 1800 m²の屋根付きの施設。3 x 3 を始めとした多種多様なスポーツや、地域と連携した様々なイベントなどの利用に対応可能な施設となっている。

・芝生広場

→約 7400 m²の広々とした広場。休息や散歩、運動など、誰もが利用可能な安らぎと憩いの空間となっている。ボール遊びは禁止。使用申請を行い、区画を区切って使うようにすれば、イベントができるようになっていく可能性が高い。すでに、テントやキッチンカー出店などを予定している。

・遊具

→LRT を模した複合遊具など、誰もが利用可能なインクルーシブ遊具などを採用する。

・フラワーガーデン

→来園者がいつ来ても季節を感じられるような場所にする。

上記の公共施設以外に、民間収益施設として

・産直

→平石地区を始めとした地元農産物や加工品などの販売を行う。

・園芸店

→園芸品の販売・フラワーガーデンのプロデュースを行う。

・飲食店・カフェ

→地元企業による運営を検討中。

・スポーツショップ

→アーバンスポーツ用品の販売、レンタルを行う。

3-2 行政の思い

アーバンスポーツがメインの公園ではあるが、決して若者向けだけというわけではない。スケートボードは日本に輸入された 1960 年代から約 20 年ごとにブームがあったという歴史がある。この東部総合公園を通して、おじいちゃんが孫を連れてスケートボードをやることのできるような場をつくり、小さい子どもから、高齢者までが気軽に利用できるような施設にしていきたいという思いがあった。また、「誰でも気軽に利用できる」ということに重点を置いているため、小さい子どもも利用しやすい料金へと相談を進めていくそうだ。



写真1 平石停留場から見た東部総合公園建設予定地（2024年11月21日撮影）

4. 施策事業の提案

東部総合公園の芝生広場及び屋根付き多目的広場を利用したイベントを提案する。

4-1 屋外図書館「パーク・ライブラリー」

芝生広場にてレジャーシートを敷き、その上にさまざまな種類の本を揃えた本棚（軽い素材のものを想定）を置いて、参加者は自由に本を読むことができるイベントを開催する。本は、宇都宮市役所等に不要になった本を寄付する箱を設置したり、イベント当日にも受付をしたりして収集する。本の種類に偏りが生じてしまうことも懸念し、市内の図書館にも協力を仰ぎ、なるべくさまざまな種類の本を揃えられるようにする。また、イベントの最中に参加者が本を持ち出してしまう可能性も考慮し、イベント会場は軽くスズランテープ等で仕切り、受付を設け、出入り口を制限する。このようなイベントを行うことで、イベントの参加者の普段読まない本との出会いを創造でき、活字離れが進んでいる世代にも、本を読む楽しさを知ってもらえるのではないだろうか。また、芝生広場の活用方法として、レジャーシートを敷いて、自由に自分のやりたいこと

をすることができるということを利用者に示すことができる。

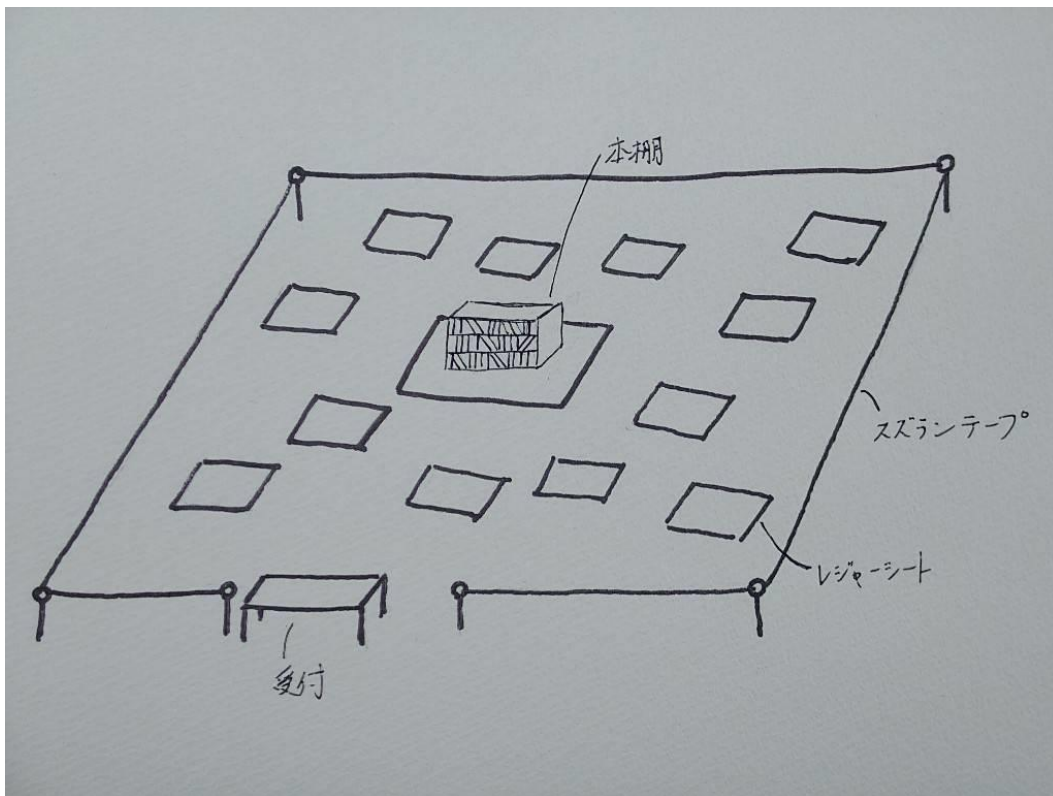


図2 パーク・ライブラリーイメージ図

4-2 昔遊び祭り「レトロゲーム・フェス」

芝生広場にレジャーシートを敷いて、めんこ、お手玉、福笑い、竹とんぼ等を行う。道具は市役所の方で用意し、使い方を教え、一緒に遊ぶ講師を地元住民に担ってもらう。募集をかけて身元確認等の審査を通過した市民に限定し、参加者の安心・安全に配慮する。参加者としては、小学生くらいまでの子どもたちを想定しているが、特に年齢制限は設けなくても良いと考える。このようなイベントを行うことで、東部総合公園を多世代交流の場としても活かせるのではないだろうか。

4-3 大学サークル・市民交流会「U&C コネクト」

宇都宮大学のサークルと東部総合公園との連携イベント提案を行う。宇都宮大学にはたくさんのサークルがある。これらの発表会などの会場として使うことによって、利用者の増加につながるのではないかと。屋根付き多目的広場では、音楽、ダンス等の発表会の開催も視野に入れているとあったが、その案のひとつに、サークルとの連携イベントを提案する。

【企画案】

・音楽系サークルの発表会

→「管弦楽団」、「doocle」、「うたう会」等。日々の練習の成果を披露することができる場、活動のアピールへ。

・ゲームサークルの交流会

→「ハナダの杜」、「UUsmash!!!」等。ゲームを通して子ども世代と大学生の交流へ。公園、スポーツをする場以外としての新たな価値へつながるのではないかと。

・スケジュール提案

開園予定である2026年の3月の次の月である2026年4月から、毎月第一土曜日を大学サークルとの交流会日とし、スケジュール案を組んだ。

以下が宇都宮大学のサークル一覧サイトである UU-Circles より、選び組んだスケジュール案

である。(表1)

表 1 2026年宇都宮大学サークル×東部総合公園連携交流会スケジュール案

2026年	サークル名	交流内容
4月4日	dooole	ダンス発表会 →日々の練習の成果発表
5月2日	ジャズ研究会 b5	演奏会 →ステージライブ
6月6日	bandstand うたう会	発表会 →ライブ
7月4日	Uまじ	マジックショー →参加型マジックショー
8月1日	自然教室ネイチャーフレンド	自然体験教室 →今までやってきた活動の紹介と活動体験
9月5日	宇都宮大学クイズサークル	クイズ大会 →宇都宮に関するクイズ大会
10月3日	UUsmash!!	スマブラ交流戦 →宇大生と参加者によるトーナメント
11月7日	アップルの会栃木盲ろう者	点字・指文字・触手話の学習会 →点字・指文字・触手話のコミュニケーション体験会
12月5日	マンドリンクラブ	演奏会 →ライブ
1月2日	～年始休み～	
2月6日	ハナダの杜 (宇都宮大学ポケモンサークル)	ポケモン交流会 →ゲームの交流戦に加え、ポケモンカードの交流戦
3月6日	演劇研究会	演劇公演 →大人も子供も楽しめるような公演

上記のスケジュール案はあくまで一つの例である。しかしながら、宇都宮大学に限らず、作新学院大学など近隣の大学とも連携していくことによって、活気あふれる公園を私たちの手で作り上げていくことができるのではないかな。

【参考文献】

UU-Circles 宇都宮大学サークル一覧, <https://uu-circles.com/>, (最終閲覧 2024年11月18日).
東部総合公園整備運営事業の概要, 宇都宮市提供.
「LRT直結 公園新設へ」, 毎日新聞朝刊, 2023年12月6日.